

S&P 500 は今年、64周年を迎えた



Hamish Preston
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス
アソシエイト・ディレクター、米国株価指数

この資料は、2021年3月5日に弊社ブログ Indexology® に掲載された文書の翻訳版です。英語版と日本語版の間に内容の相違がある場合は英語をご参照下さい。

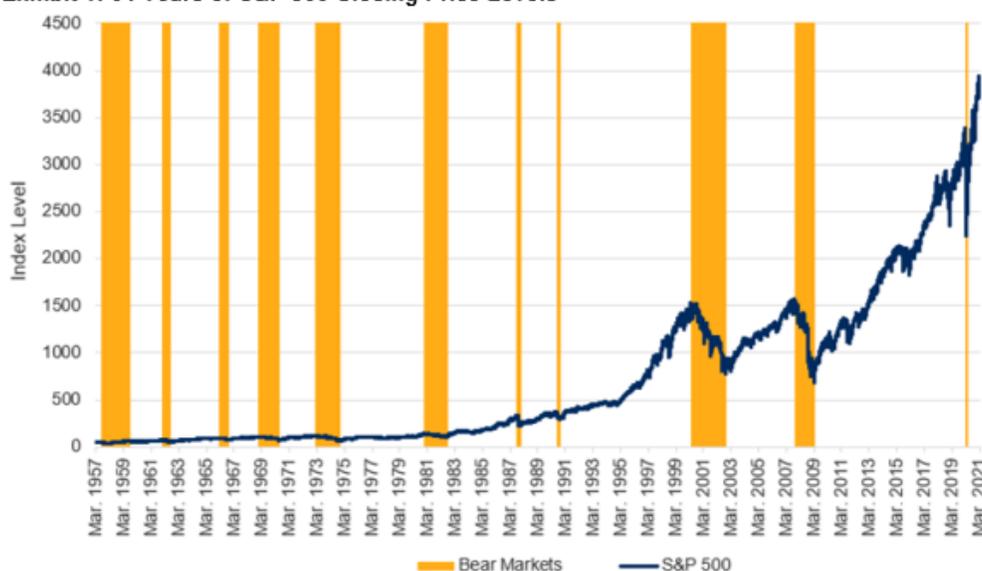
英語版：<https://www.indexologyblog.com/2021/03/05/celebrating-64-years-of-the-sp-500/>

S&P 500® は 1957 年 3 月 4 日に指数の算出を開始し、昨日で 64 周年を迎えました。この節目を祝うために、私は同僚とともに指数投資戦略チームのウィークリー・コールに参加しました（このコールへの招待状を受け取るには、デイリー・ダッシュボードにお申し込みください）。本稿では、今回行われたウィークリー・コールの主な内容を説明します。

図表 1 は、S&P 500 の過去の終値水準を示しています。過去に合計 11 回の弱気相場があり、弱気相場と弱気相場の間には、見通しの改善を反映して指数の水準が回復しています。全体として、S&P 500 は過去 64 年間にわたり約 7.2% の年率価格リターンを計上しました。

図表 1：S&P 500 の過去 64 年間の終値水準

Exhibit 1: 64 Years of S&P 500 Closing Price Levels



Source: S&P Dow Jones Indices LLC. Data as of March 3, 2021. Past performance is no guarantee of future results. Chart is provided for illustrative purposes.

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2021年3月3日現在のデータ。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されています。

S&P 500 は米国の大型株市場の動きを表している

S&P 500 は、米国株式市場の大型株セグメントの動きを表しています。S&P 500 は浮動株調整時価総額加重指数であり、指数構成銘柄のウェイトは投資家の予想全体を反映します。図表2は、S&P 500の時価総額上位5社とGICS®セクターのウェイトの推移を示しています。情報技術（IT）セクターの企業のウェイトが高まっている一方で、資本財・サービス・セクターとエネルギー・セクターの企業のウェイトが低下しています。

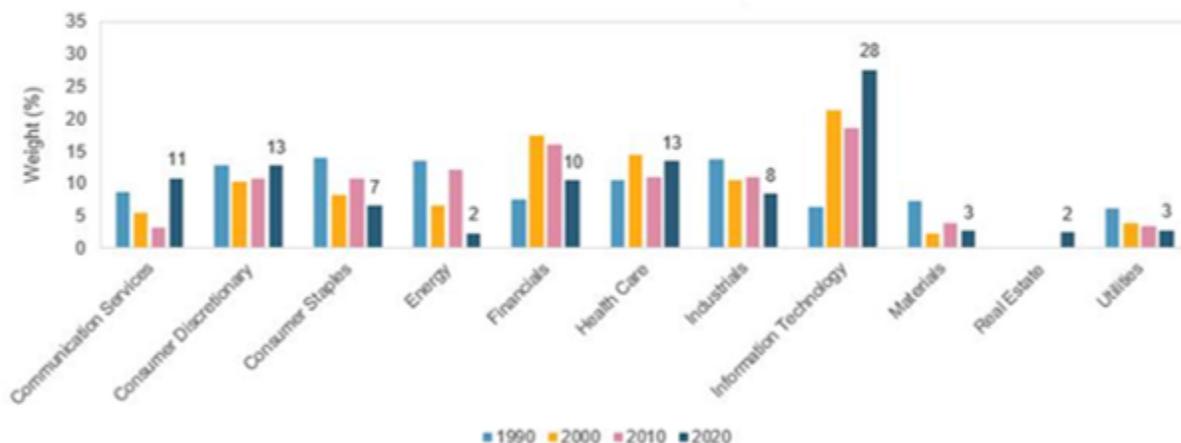
図表 2：S&P 500 は、米国の大型株セクターのトレンドを捉えている

Exhibit 2: The S&P 500 Captured Large-Cap U.S. Equity Sector Trends

Largest Five Companies in the S&P 500 at 10-year Intervals (1970-2020)

| | | | | | |
|------|------------------|-------------|------------------|------------------|-----------------------|
| 1970 | IBM | AT&T | General Motors | Exxon | Eastman Kodak |
| 1980 | IBM | AT&T | Exxon | Amoco | Schlumberger |
| 1990 | IBM | Exxon | General Electric | Philip Morris | Royal Dutch Petroleum |
| 2000 | General Electric | Exxon Mobil | Pfizer | Cisco | Citigroup |
| 2010 | Exxon Mobil | Apple | Microsoft | General Electric | Chevron |
| 2020 | Apple | Microsoft | Amazon | Alphabet | Facebook |

S&P 500 GICS Sector Weights



Source: S&P Dow Jones Indices LLC. Data as of March 4, 2020. If a company has changed its name, its most recent name is shown, but in the case of mergers, premerger and postmerger names are shown. Royal Dutch Petroleum is based in the Netherlands. GICS sector weights based on year-end index weights in 1990, 2000, 2010, and 2020. Real Estate became a standalone sector in September 2016. Telecommunication Services was renamed Communication Services in September 2018. Past performance is no guarantee of future results. Table and chart are provided for illustrative purposes.

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2021年3月4日現在のデータ。企業が社名を変更していた場合、直近の社名が示されていますが、合併の場合には、合併前および合併後の社名が示されています。Royal Dutch Petroleum はオランダを本拠地としています。世界産業分類基準（GICS）セクターのウェイトは、1990年、2000年、2010年、および2020年の各年末の指数ウェイトに基づいています。不動産は2016年9月に単独のセクターとなりました。電気通信サービス・セクターは2018年9月にコミュニケーション・サービス・セクターに改名されました。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。表および図表は説明目的のために提示されています。

1つの指数だけではない – エコシステムが重要！

S&P 500 を中心として大規模なエコシステムが育っています。図表 3 は、S&P 500 に基づく様々な指数を示しています。これらの指数に連動する商品は高い流動性を有しており、透明性、市場の効率性、および投資家の信頼性を高めることに役立っています。したがって、S&P 500 に基づく様々な指数があるということは重要なことであると言えます。

図表 3： S&P 500 には大きなエコシステムがある

Exhibit 3: The S&P 500 Has a Large Ecosystem



Source: S&P Dow Jones Indices LLC. Chart is provided for illustrative purposes.

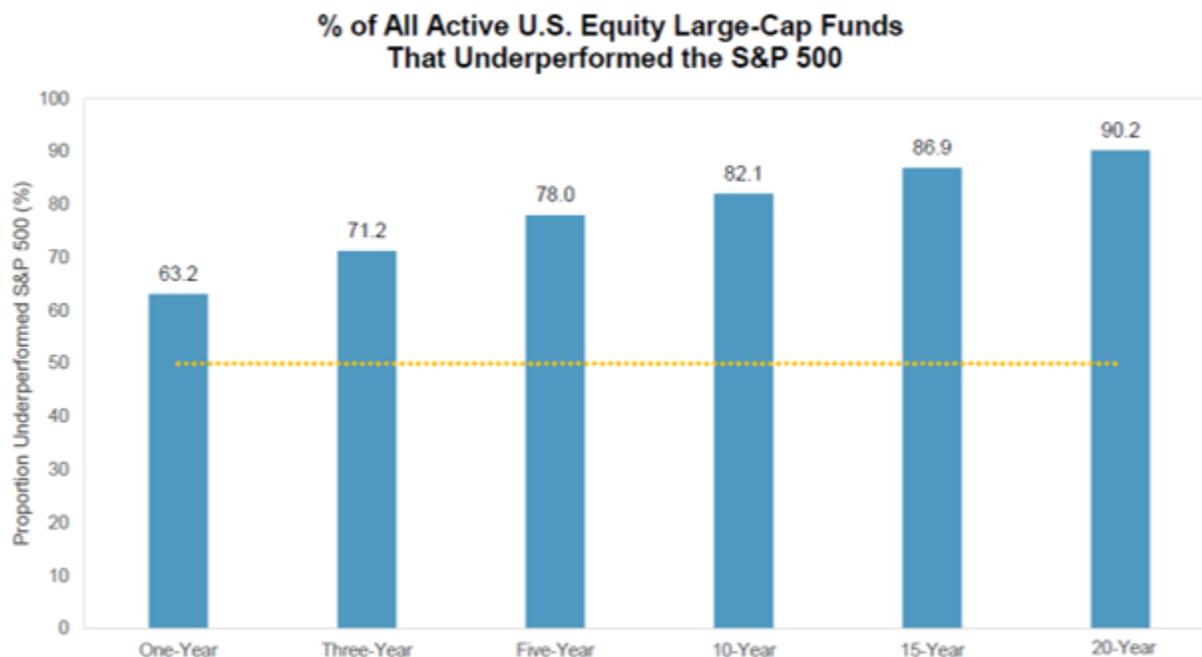
出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。図表は説明目的のために提示されています。

S&P 500 をアウトパフォームすることは難しい

S&P 500 の歴史の中で、アクティブ運用会社が S&P 500 をアウトパフォームすることは非常に困難であることが証明されています。当社の 米国 SPIVA スコアカード によると、2001 年～2019 年までの 19 暦年のうち 16 暦年において、米国大型株アクティブ運用会社の大半が S&P 500 をアンダーパフォームしています。また、提示されている対象期間において、2020 年 6 月末時点ですべての米国大型株運用会社の過半数が S&P 500 をアンダーパフォームしています。

図表 4：米国大型株アクティブ運用会社のほとんどが S&P 500 をアンダーパフォーマンスした

Exhibit 4: Most Large-Cap U.S. Equity Active Managers Underperformed the S&P 500



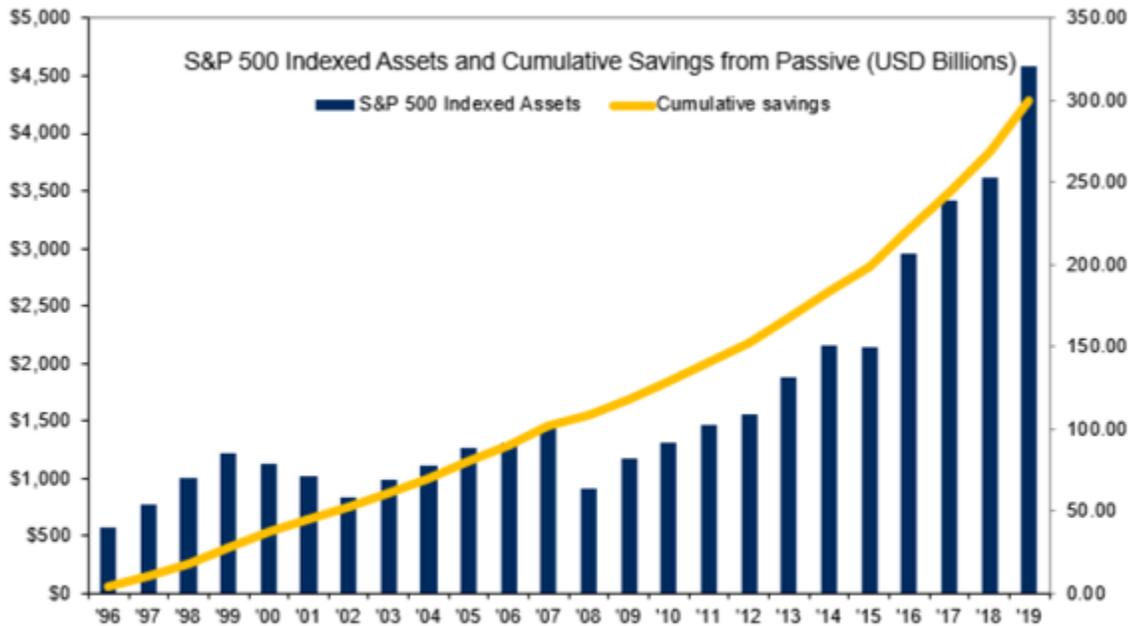
Source: S&P Dow Jones Indices LLC, CRSP. Data as of June 30, 2020. Past performance is no guarantee of future results. Chart is provided for illustrative purposes.

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、CRSP。2020年6月30日現在のデータ。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されています。

このようなアンダーパフォーマンスは 米国のファンドだけに見られる傾向ではなく、またベンチマークをアウトパフォーマンスすることが難しいことに関して様々な説明があります。しかし、指数ベースのアプローチを採用することのメリットに対する認識が高まったことにより、米国の大型株に大きな影響が及んでいます。図表 4 に示されているように、S&P 500 に直接連動する資産は 1996 年以降大幅に増加しており、2019 年末時点で 4 兆 5,900 億ドルに達しています。各年末時点において、S&P 500 に連動する資産に、アクティブ運用ファンドとそのパッシブ運用ファンドの平均経費率の差を乗じると、**S&P 500** にパッシブに連動することに伴う投資家の推定累積節約金額は、**1996 年～2019 年の間に 3,000 億米ドル**となりました。

図表 5： S&P 500 に連動する資産と、パッシブ運用に伴う累積節約金額の推移
 合計（1996年～2019年） = 2,998 億 5,500 万ドル

Exhibit 5: Indexed Assets and Cumulative Savings from Passive Investing



Total (1996 - 2019) = \$299.855 billion U.S. dollars

Source: S&P Dow Jones Indices LLC, *Annual Survey of Indexed Assets*, as of Dec. 31, 2019, and Investment Company Institute, *2020 Investment Company Factbook*. Past performance is no guarantee of future results. Chart is provided for illustrative purposes.

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、*指数連動資産の年間サーベイ*、2019年12月31日現在、インベストメント・カンパニー・インスティテュート、*2020年インベストメント・カンパニー・ファクトブック*。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されています。

S&P 500 の構成銘柄、過去のパフォーマンス、大きなエコシステム、および S&P 500 に対するアクティブ運用会社のアンダーパフォーマンスなどはすべて、S&P 500 の優位性および魅力を示しています。新たな 64 年に期待しています！

このブログの記事は意見であり、助言ではありません。免責条項をお読み下さい。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス免責事項

©S&Pグローバルの一部門である S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC 2021 年。不許複製。Standard & Poor's, S&P、は、S&Pグローバルの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービシーズ LLC (以下「S&P」)の登録商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズ LLC (以下「ダウ・ジョーンズ」)の登録商標です。商標は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC にライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして(または)複写を画面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ダウ・ジョーンズ、S&P 或いはそれぞれの関連会社(これらを合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス」という)が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC が提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを目指す投資ファンド、或いはその他のビークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることに保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC は投資顧問会社ではなく、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のビークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のビークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&P の米国のベンチマーク指数及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指数の終値は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスがサードパーティ・ベンダーの 1 社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2 次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容(指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力)も他のいかなる部分(以下「内容」という)も、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の書面による承認なくして、いかなる形式といかなる手段によっても、改変、リパースエンジニアリング、再製または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー(合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という)も、内容の正確性、完全性、適時性或いは利用可能性を保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても(逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず)、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を負いません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

最新のブログ「[Indexology](https://www.indexologyblog.com)」(英語)をご覧になりたい方は、こちらのサイト

www.indexologyblog.com よりご登録いただけますと、更新の都度メッセージが届きます。